教員名	高橋 真央(TAKAHASHI Mao)
所 属	開発途上国女子教育協力センター
学 位	学士(文学) 修士(人間科学)
職名	講師
URL/E-mail	mao@cc.ocha.ac.jp

# ◆研究キーワード

国際協力 / 開発途上国における女子教育 / ボランティア

**◆主要業績** 総数(4)件

- ・<論文>高橋真央・天沼直子・加藤貴子. 2005年. 「国際理解教育における遠隔交流授業の可能性ーケニア・マサイと日本の小学校における遠隔教育の実践から一」国際理解教育. 11 号. 88-101 頁.
- ・<学会発表>高橋真央・天沼直子・中村安秀・草郷孝好・仲佐保・倉沢愛子・池田光穂.「インドネシア母子健康手帳プログラムに関する学際的調査」第 20 回国際保健医療学会総会. 東京大学本郷キャンパス. 2005 年 11 月 6 日.
- ・<フィールドワーク>「生活世界と学校教育の相互作用に関する調査」(ケニア、マサイにおいて)

# ◆研究内容

開発途上国における女子教育の必要性および支援の状況について研究を進めています。どのような国においても女性が一人の人間として、自分の意志で選択し生きていける世界となるために何が必要なのか、という視点を常に持ち続けながら研究しています。

同時に、「国際協力ボランティア」に関心を持ち、世界中で様々な NGO が立ち上がり、沢山のボランティアが途上国に出かけていったり、国内での NGO 活動に関わったりしています。ボランティアを焦点に当てた国際協力活動や市民社会の動きに注目し、研究を進めています。

#### **♦**Reseach Pursuits

I am studying the conditions of women and girls in developing countries. I am promoting research activities aimed at improving the education and status of women in developing nations for the purpose of creating a world where every woman is free to make her own decisions. Women's empowerment is affected by many different issues in developing nations, including health, education, population, economics and labor problems. I am trying to research about these problems and promoting support activities from the perspective of education.

In addition, I am interested in NGO activities and the volunteers who deal with international collaboration activities. Now the volunteers are so active that they can go to the developing countries and support the people, or that they can make efforts to assist the international volunteers. I focus on the people's activities in the field of international collaboration and try to research the system of civil society in its field.

### ◆共同研究例

・紛争地における教育支援

## ◆将来の研究計画・研究の展望

日本の市民による国際協力の関わりについて分析し、まとめていきたい。また、他国の国際協力について比較研究し、日本の市民社会による国際協力のかたちについて考えていきたい。

## ◆共同研究可能テーマ・今後実用化したいテーマ

- ・ボランティア
- 国際教育協力
- ・開発途上国における女子教育

## ◆受験生等へのメッセージ

女性の視点から「世界を見る」そして、「世界を知る」この大学にはそのための様々なチャンスがあります。その機会を得ながら、いつかは世界の平和や貧困にどのような形でも良いから関われる女性を育成しようという夢と期待がここにはあります。みなさんも共に、それぞれの視点から世界にいる様々な女性について、その状況について考えてみませんか。